

設計・施工資料	内装建材	樹脂製化粧見切
	見切・目地	高意匠天井/壁 見切 見切リフォームカバー

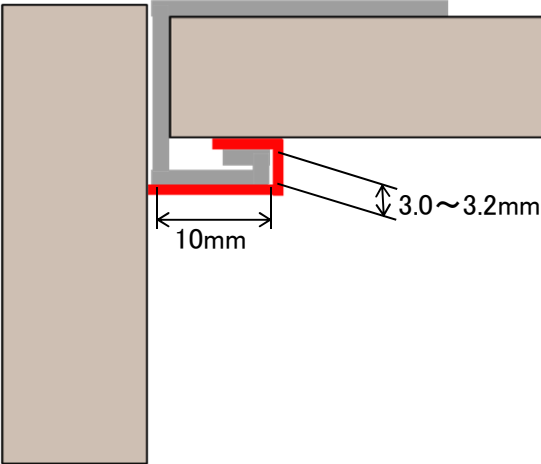
■設計施工時の注意

本製品は屋内の樹脂製見切のリフォーム部材です

！注意

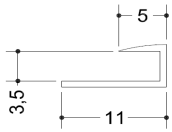
- 本製品は屋内の樹脂製見切のリフォーム部材です それ以外の目的には使用しないでください
- 見付部分が3～3.2mm×10mmのF見切のカバー材として使用してください
- 冬場に本製品を施工する際には、室温が5℃以上となるようにしてください
- 本製品の在庫保管や施工時の一時保管の際には、雨や直射日光の当たらないところに寝かせて保管ください

■基本納まり図



■製品図

●見切リフォームカバー



■使用可能な見切材

ボード厚	製品図
4mm用	●D-4号 t=1mm
5mm用	●46号 t=1mm
6mm用	●D-6号 t=1mm
8mm用	●D-8号 t=1mm
9.5mm用	●45号 t=1mm
12.5mm用	●D-3号 t=1mm

ボード厚	製品図
3mm用	●A1-4N t=1mm
4mm用	●A1-5N t=1mm
5mm用	●A1-6N t=1mm
6mm用	●A1-7N t=1mm
8mm用	●A1-8N t=1mm
9.5mm用	●A1-10N t=1mm
12.5mm用	●A1-13N t=1mm



注意

アルミ見切、目透し見切には
使用できません！

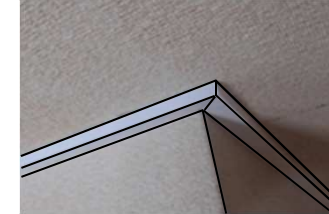
■施工要領

①リフォーム時、クロスを剥がす場合(剥がさない場合は②へ)
見切リフォームカバー施工前に、まずクロスを剥がしてください

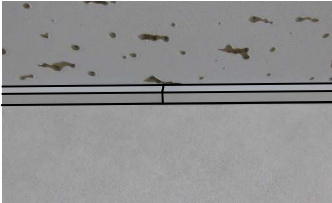
②長さを切断する
カッターもしくは手鋸にて切断してください
※樹脂切断用のハサミは切断時に見付をつぶしてしまうため
使用しないでください

ポイント！

切断時には、見付をつぶさない
ようにしてください



・ジョイント部
突付け納め



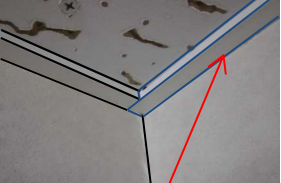
ポイント！

留め、突付け納めなどで隙間
が気になる場合は、同色のジョ
イントコークなどで隙間を埋め
てください

・入隅部
45° カットし留め納め
※または端部同士が重ならないように切削
することで突付け納めも可能です

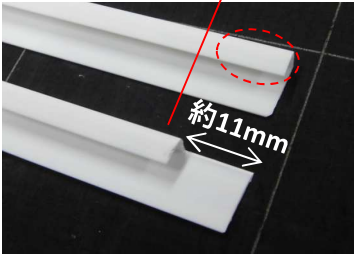


留め納め



突付け納め

端部同士が重ならない
よう赤色の部分を切
削する



約11mm

入隅コーナー部の見付は突付けでもOK

③カバー材の差し込み
既存見切が完全に隠れるように、奥まで挿入してください



ポイント！

50mm程挿入した時点で所定の
位置にスライドする
※挿入しすぎるとスライドし難く
なります



ポイント！

本品が入れにくい場合は、カッター
を入れ、隙間を開けて挿入し、順々
に差し込んでいく

！注意

- リフォーム時、クロスを剥がさない場合でジョイントコークが施工されている場合は、ジョイントコークを十分に除去してからカバー材を差し込んでください
除去不十分の状態では施工するとカバー材が差し込みにくくなる可能性があります
- カバー材の差し込みが緩い場合は、カバー材内側に市販の内装用接着剤を塗布して施工ください

接着剤



④クロス貼り(剥がさない場合はなし)
クロスは本品を定木にして切断してください

